



2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月26日

上場会社名 日本興業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5279 URL <https://www.nihon-kogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 山口 芳美

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務人事部広報・IR室長兼 総務担当部長 (氏名) 朝井 正哉

TEL 087-894-8130

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,801	2.3	61		37		48	
2024年3月期第1四半期	2,867	27.8	37		53		14	

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 42百万円 (%) 2024年3月期第1四半期 59百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	16.63	
2024年3月期第1四半期	4.95	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2025年3月期第1四半期	14,971		7,531		50.3	
2024年3月期	15,618		7,660		49.0	

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 7,531百万円 2024年3月期 7,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		30.00	30.00
2025年3月期(予想)		0.00		30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,000	1.3	55	2.5	70	13.6	35	2.3	12.09
通期	13,700	0.2	430	3.8	470	1.2	300	1.6	103.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	3,064,200 株	2024年3月期	3,064,200 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	168,568 株	2024年3月期	168,568 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	2,895,632 株	2024年3月期1Q	2,895,867 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には、さまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が持続しているものの、原材料価格やエネルギーコストの高騰の影響などにより、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループ（当社および子会社）は、販売部門においては、当社プレキャストコンクリート製品のもつ優れた機能性を訴求すべく、役所や建設コンサルタントに向けた提案営業を鋭意推進しながら受注獲得に努めてまいりました。また、開発・設計部門の支援による3次元データ等のデジタル技術を駆使しながら、高付加価値製品の拡販や難易度の高い特注物件の受注にも注力いたしました。生産部門においては、原材料価格高騰への対策として、生産性の向上をより一層推進し、協力会社との連携も強化しながら原価の低減に取り組む一方、販売部門においても販売価格の適正化に注力するなど、グループ一丸となって収益の確保に努めてまいりました。なお、カーボンニュートラルに向けた取組みについては、低炭素型コンクリート「Necoコンクリート®」を用いた製品の製造を本格的に開始したほか、志度工場において太陽光発電システムを導入するなどの成果を上げました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、主に景観資材事業およびエクステリア事業の減収に伴い、28億1百万円（前年同期比2.3%減）となりました。また、損益面では、原材料価格や輸送コストの高騰の影響を払拭できず、販売費及び一般管理費も増加したことなどにより、営業損失は61百万円（前年同期は37百万円の利益）、経常損失は37百万円（前年同期は53百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は48百万円（前年同期は14百万円の利益）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(セグメント別売上高の状況)

区分	期別	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間	
		金額	構成比	金額	構成比
		百万円	%	百万円	%
土木資材事業		2,054	71.6	2,049	73.2
景観資材事業		584	20.4	546	19.5
エクステリア事業		229	8.0	205	7.3
合計		2,867	100.0	2,801	100.0

(土木資材事業)

国や地方の推進する「国土強靱化」や「防災・減災」、「流域治水」などの重点施策を背景に、高付加価値製品の拡販に努めた結果、側溝を始めとする道路用製品や貯留・防災製品などは順調に売上を伸ばしたものの、大型工事物件向けの製品出荷が遅延したことなどで、当セグメントの売上高は20億49百万円（前年同期比0.2%減）、当セグメント利益は17百万円（前年同期比81.1%減）となりました。

(景観資材事業)

豊富な製品ラインナップと当社オリジナルの特注対応力を活かした提案営業を推進した結果、主力のバリアフリーペイズや透水タイプの舗装材などの製品は堅調に推移したものの、関連商品の販売が振るわず、当セグメントの売上高は5億46百万円（前年同期比6.4%減）、当セグメント損失は76百万円（前年同四半期は61百万円の損失）となりました。

(エクステリア事業)

品揃えを図りハウスメーカーへの拡販を推進したものの、主力製品の立水栓を始めとするガーデン関連製品が伸び悩み、その他の製品も苦戦を強いられたことで、当セグメントの売上高は2億5百万円（前年同期比10.4%減）、当セグメント損失は2百万円（前年同四半期は5百万円の利益）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて6億47百万円減少し、149億71百万円となりました。これは主に、売上高に季節的変動があることで売上債権の受取手形及び売掛金が9億17百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて5億17百万円減少し、74億40百万円となりました。これは主に、売上高の季節的変動に伴い仕入債務の支払手形及び買掛金が3億20百万円減少、ならびに電子記録債務が3億18百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて1億29百万円減少し、75億31百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上や期末配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は50.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想しました結果、2024年4月30日に公表しました業績予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,454,460	1,320,822
受取手形及び売掛金	3,174,600	2,257,392
電子記録債権	1,497,826	1,579,658
商品及び製品	1,411,327	1,647,061
仕掛品	99,836	111,534
未成工事支出金	102,301	90,624
原材料及び貯蔵品	368,761	391,792
その他	78,570	79,164
貸倒引当金	△2,300	△630
流動資産合計	8,185,384	7,477,420
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	979,266	966,278
土地	3,906,909	3,906,909
その他(純額)	1,219,656	1,289,822
有形固定資産合計	6,105,831	6,163,010
無形固定資産		
投資その他の資産	231,527	226,642
投資有価証券	665,098	680,121
退職給付に係る資産	303,223	306,401
繰延税金資産	27,750	17,646
その他	100,177	100,656
投資その他の資産合計	1,096,249	1,104,824
固定資産合計	7,433,608	7,494,478
資産合計	15,618,993	14,971,898
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,272,322	951,372
電子記録債務	1,646,503	1,328,040
短期借入金	2,420,208	2,640,212
未払法人税等	114,164	50,384
未払消費税等	145,499	49,362
未払費用	237,716	458,830
賞与引当金	179,674	63,191
役員賞与引当金	11,121	—
工事損失引当金	9,272	2,504
その他	606,503	578,951
流動負債合計	6,642,985	6,122,850
固定負債		
長期借入金	852,599	825,876
繰延税金負債	104,358	88,715
その他	358,185	403,394
固定負債合計	1,315,142	1,317,986
負債合計	7,958,127	7,440,836

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,800	2,019,800
資本剰余金	1,984,603	1,984,603
利益剰余金	3,316,655	3,181,639
自己株式	△91,431	△91,431
株主資本合計	7,229,627	7,094,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	328,222	338,741
退職給付に係る調整累計額	103,014	97,709
その他の包括利益累計額合計	431,237	436,450
純資産合計	7,660,865	7,531,062
負債純資産合計	15,618,993	14,971,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,867,374	2,801,947
売上原価	2,252,929	2,265,930
売上総利益	614,444	536,016
販売費及び一般管理費	576,535	597,202
営業利益又は営業損失(△)	37,909	△61,185
営業外収益		
受取配当金	9,056	10,319
受取賃貸料	3,056	3,524
工業所有権実施許諾料	1,558	1,979
雑収入	7,268	13,209
営業外収益合計	20,940	29,032
営業外費用		
支払利息	4,257	4,547
賃貸費用	1,310	951
雑損失	26	—
営業外費用合計	5,594	5,498
経常利益又は経常損失(△)	53,254	△37,651
特別利益		
固定資産売却益	229	—
特別利益合計	229	—
特別損失		
固定資産除却損	91	—
特別損失合計	91	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	53,392	△37,651
法人税、住民税及び事業税	5,637	18,176
法人税等調整額	21,709	△7,681
法人税等合計	27,346	10,494
四半期純利益又は四半期純損失(△)	26,045	△48,146
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,703	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	14,341	△48,146

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	26,045	△48,146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,116	10,518
退職給付に係る調整額	△998	△5,305
その他の包括利益合計	33,118	5,213
四半期包括利益	59,163	△42,933
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,322	△42,933
非支配株主に係る四半期包括利益	11,841	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

従来、所得等に対する法人税、住民税及び事業税等(以下、「法人税等」という。)について、法令に従い算定した額を損益に計上することとしておりましたが、所得に対する法人税等について、その発生源となる取引等に応じて、損益、株主資本及びその他の包括利益に区分して計上することとし、その他の包括利益累計額に計上された法人税等については、当該法人税等が課される原因となる取引等が損益に計上された時点で、これに対応する税額を損益に計上することとしました。なお、課税の対象となった取引等が、損益に加えて、株主資本又はその他の包括利益に関連しており、かつ、株主資本又はその他の包括利益に対して課された法人税等の金額を算定することが困難である場合には、当該税額を損益に計上しております。

当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	111,642千円	125,046千円
のれんの償却額	3,454	3,454

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	土木資材事業	景観資材事業	エクステリア 事業	合計		
売上高						
官需	1,485,051	509,827	22,990	2,017,868	—	2,017,868
民需	569,023	74,413	206,068	849,505	—	849,505
顧客との契約から生じ る収益	2,054,074	584,240	229,059	2,867,374	—	2,867,374
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,054,074	584,240	229,059	2,867,374	—	2,867,374
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,054,074	584,240	229,059	2,867,374	—	2,867,374
セグメント利益又は 損失(△)	94,039	△61,696	5,566	37,909	—	37,909

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	土木資材事業	景観資材事業	エクステリア 事業	合計		
売上高						
官需	1,442,699	443,571	2,874	1,889,145	—	1,889,145
民需	607,135	103,193	202,473	912,802	—	912,802
顧客との契約から生じ る収益	2,049,834	546,765	205,347	2,801,947	—	2,801,947
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,049,834	546,765	205,347	2,801,947	—	2,801,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,049,834	546,765	205,347	2,801,947	—	2,801,947
セグメント利益又は 損失(△)	17,768	△76,731	△2,222	△61,185	—	△61,185

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。